

第1学年1組 国語科学習指導案

指導者 竜北中学校 教諭 杉山 寿江

1 題材 「話し合って考えよう」(国語1 光村図書)

2 題材について

(1) 題材観

学校生活や日常生活の中でも、人と会話したり話し合ったりする場面は多いはずである。しかし、自分の感情を交えて話すことはできても、相手を意識して内容や話し方を工夫し発表することが苦手な生徒は多い。また、根拠をもとにした自分の意見を持ち、目的や場面に応じて適切な語句を用いたり、他者の意見もきちんと聞き、相手を尊重する態度を持つことは、これからの社会においてとても大事なことである。

本題材は、「話し合う」ことを目標に作られたものである。入学して半年が経ったこの時期に、少人数での話し合いを通して、基本的な話し合い(グループ・ディスカッション)がどのように行われるかを学び、議論する力の基本を身に付けるのに、系統・計画的にも適した題材である。

(2) 系統観

【「話す・聞く」の系統観】

1年

2年

3年

<p>「話す・聞く」の基本 1 新しい世界へ 「発見したことを伝えよう」 ○構成を工夫してスピーチをし、発表者の話に耳を傾ける。</p>	<p>1 心を開く 「聞く生活」を考えよう ○必要な情報を的確に聞き取る練習をする。</p>	<p>1 心の在り方 「相手を意識して伝えよう」 ○相手に応じて情報を再構成し、分かりやすいように説明する。</p>
<p>話し合い・討論 3 心の歩み 「話し合って考えよう」 グループ・ディスカッション ◎グループ・ディスカッションをしながら、自分と他人の意見を比較し、自分の考えを深める。</p>	<p>3 人間のきずな 「提案のしかたを工夫しよう」 プレゼンテーション ○伝える目的に応じて情報を検索したり選択し、資料の扱い方や話の構成を工夫し効果的に伝える。</p>	<p>3 状況に生きる 「話し合って考えを深めよう」 パネルディスカッション ○論点を明確にして話し合い、言葉についての考えを深める。</p>

(3) 生徒観(男子17名、女子17名、合計34名)

年間を通して朝の読書に取り組んでいることもあり、本などを見たり読んだりするのは割合好きであるが、自分の感想や考えをまとめて書いたり、発表する自己表現活動は苦手としている。また、アンケートの結果、国語の時間につきたい力として、多くの生徒が《話す・聞く力》や《表現力》を挙げている。その中でも特に、発表や意見をまとめるなどといった書いて表現することに關するものが挙げられており、苦手なものを克服したいという生徒の意欲・関心の高さが感じられる結果となっている。

(4) 指導観

4月の「発見したことを伝えよう」では、小学校と中学校の違いについて具体例を入れた自分の意見を書き、少人数のグループで発表する活動を行っている。だが、その手順や発表の仕方を確認することから始めたため、時数の関係もあり自分の意見を深めるまでは至っていない。

今回は、自分の意見を持つだけではなく、根拠を入れたものをグループや全体の前で発表したり、他者の発表を自分の意見と比較することで、自分の意見や考えを見直し深めるきっかけとしたい。

3 研究テーマ(部会)との関連

(「話すこと・聞くこと」部会テーマ)

自分の考えを育む「話すこと・聞くこと」の授業づくり
～互いの立場や考えを基盤においた話し合い活動を通して～

(1) 「書くこと」「読むこと」の言語活動と関連づけた授業づくり。

①単元を通して、三つの言語活動を有機的・有効的につなげた授業の工夫をする。

(2) 話そう・聞こうという意欲を起す自己課題の持たせ方の工夫。 **やろう**

①何のために、どんな活動をすれば力が伸びるのか分かる目標の提示をする。

②聞き取りテストや30秒スピーチを通して、話すこと・聞くことの力をつける。

(3) 楽しみながら話したり、聞いたりする力を身につけさせる場の工夫。 **つかおう**

①相手を尊重した話すこと・聞くことのルールを徹底し、話しやすい場をつくる。

②意見交流・交換などを行い、発言が一方通行にならないようにする。

(4) 身についた話す、聞く力を実感できる評価を工夫する。 **しろう**

①学習目標を明確にし、具体的な自己課題を設定させ、活動できる評価の工夫をする。

②学習の前後で、自己の成長が実感できる、自己評価や相互評価の工夫をする。

4 学習指導の目標

- ◎自分の考えや意見を持ち、聞き手を意識した話し方を工夫し、話し手の立場や意図を考えながら内容を聞き取ったりさせる。
- 議題に対して自分の意見を持ち、グループのメンバーに積極的に伝えさせる。(1-A-ア)
- 自分の意見を理由とともにまとめ、話し合いの流れに沿って発言させる。(1-A-イ)
- 話し合いの話題や方向をとらえて話し、それぞれの発言を注意して聞かせる。(1-A-エ)

5 指導と評価の計画(4時間取り扱い)

次	時	学習活動	評価規準	評価方法
1	2	○話し合いの意義について考え、グループ・ディスカッションのやり方を学び身に付ける。 話し合いのテーマ・例 ・男が得か女が得か。 ・あなたが幸せだと感じることや時は何か。	《関心・意欲・態度》 ①相手の意見を聞き、それに対する自分の立場を明確にしながらか発言しようとしている。 ----- 《話す・聞く能力》 ①話し合いの意義を理解し、意見の組み立てに留意して、発言したり聞き取ったりしている。 ②記録をもとに、グループの意見交換の内容を簡潔に報告している。 ③自分とは異なる意見や疑問点について、メモを取って質問し、考えを深めている。	観察 ノート ワークシート
2	1	○「ヒロユキは幸せだった。」のか、自分の意見を書く。	《読む能力》 ①文章に表れている物の見方や考え方を理解し、見方や考え方を広げている。 ----- 《書く能力》 ①伝えたい事や、課題などについて、自分の考えや気持ちを書いている。	観察 ノート ワークシート
3	1 本時	○本当に「ヒロユキは幸せだった。」のか、話し合いをする。	《言語事項》 ①話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意する。	観察 ワークシート

6 本時の学習

(1) 本時の目標(4/4)

- ・本文中の「ヒロユキは幸せだった。」の言葉に対して、根拠をもとにした自分の意見を持つことができる。
- ・自分の意見を、グループや全体の前で相手に伝わるように発表することができる。

(2) 評価

評価項目	評価基準	つまずきへの手だて
関心・意欲・態度	①相手の話を受け止め、話し合いを進めようとしている。…(B)	・事前に書いた文章の見直しをしたり、アドバイスをし、発表の準備をさせる。
	相手の話を受け止め、積極的に話し合いを進めようとしている。…(A)	
話すこと・聞くこと	①根拠をもとに、自分の意見を発表している。…(B)	・内容を確認して、司会者に復唱させる。 ・聞き手が分からない時には、発表者に言い直しをさせる。
	根拠をもとに、自分の意見を工夫して発表している。…(A)	
	②自分の考えと他人の考えの違いに気づき、メモを取っている。…(B)	・グループ内で評価表を見て確認させる。
自分の考えと他人の考えの違いを比べながら、メモを取ったり付け加えたりしている。…(A)		

(2) 本時の展開

過程	機能	形態	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応
導入 8分	能動 徹底	グループ 一 斉	<p>1 30秒スピーチをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">最初に30秒スピーチをします。</div> <p>2 本時の目標を知る。</p> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;">目標：「ヒロユキは幸せだった。」のか、自分の意見を持ち、友だちに伝わるように発表しよう。</div>	<p>○自分の考えをまとめて話せない。</p>
展開 20分 10分	能動 徹底 能動 徹底	グループ 一 斉	<p>3 グループ内で、それぞれの意見を発表し、一人一人の意見から、グループのまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「ヒロユキは幸せだった。」のか、みんな考えてみよう。</div> <p>4 それぞれのグループで出された意見などについて、代表者が発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">それぞれのグループで出された意見を全体の前で発表しましょう。</div>	<p>○グループでの発表の仕方が分からない。</p> <p>○友だちを意識した発表ができない。</p> <p>○何を発表してよいか分からない。</p> <p>○相手の発表をきちんと聞くことができない。</p> <p>○無理に一つの意見にまとめようとする。</p> <p>○相手の発表をきちんと聞くことができない。</p>
まとめ 12分	徹底	グループ	<p>5 感想交流を行い、自己評価と本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相互評価カードをお互いに見て、自分の長所・短所に気づき、自己評価カードにまとめよう。</div>	<p>○なかなか自分の意見を書き込めない。</p>

教師の支援	評価(評価方法)	備考
<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単に話が広がるテーマを与える。 ● 事前にスピーチのテーマを知らせ、考えさせておく。 		<p>スピーチの型</p> <p>目標を書いた広用紙</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 学習目標を明らかにして、そのために話し合い活動することを伝える。 ● 話し合い活動のルールややり方の型を確認する。 ● 相手が同じ中学生であることと、注意点を挙げさせる。 ● 必ずどちらの意見であるか根拠を入れ、だからどう思うのかなど、発表の項目を絞らせる。 ● 友だちの良かった項目を、簡単に書けるような簡単な自己・相互評価ワークシートを配布する。 ● 相手を納得させる根拠「なるほど」が入っている班や、感想メモを書かせる。 	<p>(評価1) 関心・意欲・態度① 人の意見も聞きながら、自分でまとめた意見を発言しようとしている。 (観察)</p> <p>(評価2) 話すこと・聞くこと① 自分の立場を明らかにし、根拠を入れてヒロユキは幸せだったか発表することができる。 (観察・相互評価・ワークシート)</p> <p>(評価3) 話すこと・聞くこと② 自分の考えと他人の考えの違いに気づき、メモを取ることができる。 (観察・相互評価・ワークシート)</p>	<p>ワークシート</p> <p>カード</p> <p>相互評価のワークシート</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 相互評価のワークシートを見ることで、自分の意見に根拠が入っていたかなど確認させる。 ● この学習を通じて、目標を達成できたか振り返ることで、学習意欲を持続させるようにする。 		<p>自己評価カード</p>